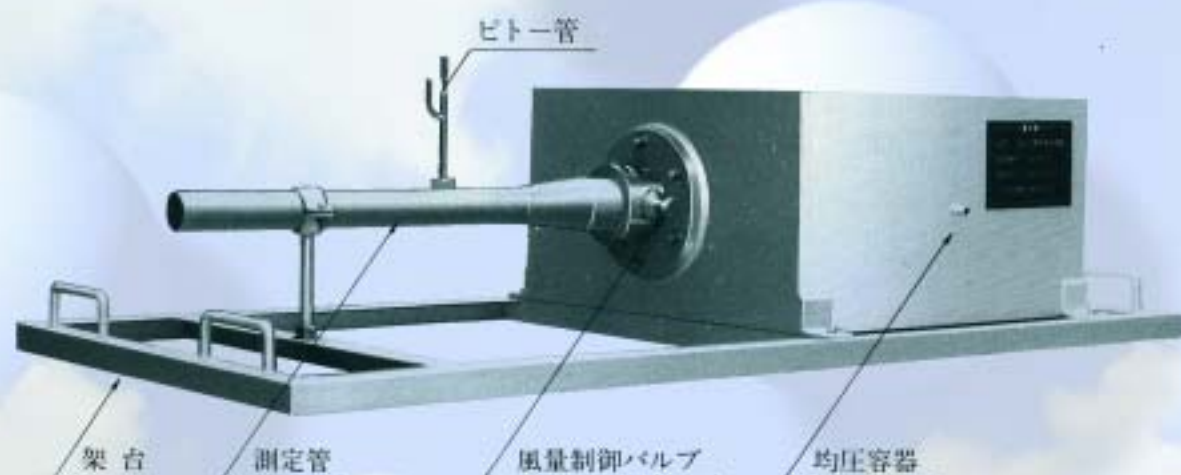


■F250吸込仕事率測定器

JIS C 9108 の規定による掃除機の吸込み仕事率を計測するための装置です。

ビトー管付きの測定管と均圧容器を組み合わせたものでありビトー管と均圧容器にそれぞれマンメータを接続しておけば掃除機の吸い込みホースを接続するだけで測定することができます。

測定管と均圧容器の間には風量制御バルブがあり、このバルブはバタフライ弁になっており、精度良く吸込仕事率が計測できるよう1°刻みの目盛りが付いています。



寸法 1250×550×290H (mm)

重量 約45kg

● マノメータの選定

JIS に定められた方法は、真空度と風量の関係を吸込仕事率特性曲線として作図等の処理を行うようになっています。従ってビトー管の差圧と均圧容器内の静圧は同時に計測する必要があります。

ビトー管の差圧は、0.1mmAqの分解能を持つマンメータが望ましく弊社製品はF213ベツツ型マンメータが最適です。

静圧測定用のマンメータは、1,000mmAq迄計れるものが要求されますので、弊社製品F223単管式マンメータTM-B1000が使い易い計器です。

● 計測の方法

吸込仕事率の曲線を得るためには次の演算式を用います。

$$Q = 0.19\sqrt{hd} \quad hd: \text{ビトー管の差圧 (mmAq)}$$

(流量)

$$P = 0.1634Qhs \quad hs: \text{真空マンメータによる大気との差圧 (mmAq)}$$

(吸込仕事率)

1. 測定の前準備

この装置に前述のマンメータを接続します。それぞれのマンメータの0点を合わせます。次に試験をする掃除機の吸い込み管を装置に接続して下さい。以上で準備は完了です。